

胃カメラ検査 説明・同意書

※ご希望の検査方法にレを入れてください

経口の胃内視鏡検査（口からの胃カメラ）

喉の局所麻酔を十分行い、ご希望の方には鎮静剤を使用して、楽に検査を行います。
病変を見逃さないために空気を送り込みますので、おなかที่張ってきます。
出来るだけゲップを出さないで下さい。

経鼻の胃内視鏡検査（鼻からの胃カメラ）

鼻から内視鏡を入れます。細い内視鏡を使用するので嘔吐反射は少なく、通常鎮静剤は用いません。検査前には鼻の局所麻酔をします。カメラが喉を過ぎた後は胃カメラと同じです。鼻腔が細く、内視鏡の挿入が出来ない場合には、無理をせず、鎮静剤を使用して、口から挿入します。

内視鏡検査による合併症について

鼻、喉の麻酔や、検査の時に使用する薬剤や鎮静剤により、副作用がでる事があります。これらの薬剤でショックをおこし、死亡した例もあります。きわめて稀に、出血や穿孔（消化管に穴を開けてしまう事）などがあり、止血や、緊急手術が必要になる事もあると言われております。

日本消化器内視鏡学会が調査した偶発症（血圧低下・ショック・呼吸抑制）の頻度は、14,000人に1人、死亡の頻度は22,000人に1人となっています。

経鼻内視鏡検査では、鼻血が出る事があり、まれですが、止血処置が必要になる事もあります。
鎮静剤を使う場合、自動車、バイク、自転車の運転は絶対になさらないで下さい。

同意を検査前に拒否、撤回されても構いません。

※該当する場合には下記にレして下さい。

心臓病（狭心症、弁膜症、不整脈） 高血圧 脳梗塞 腎臓病 血液疾患 前立腺肥大症

緑内障 薬のアレルギー（薬剤名： _____）

糖尿病（薬剤 無し 有り 薬剤名 _____）

アレルギー性鼻炎 蓄膿症 鼻の手術後

〈血を固まりにくくする薬の内服〉 なし あり（薬剤名 _____）

〈サプリメントの内服〉 なし あり（商品名 _____）

〈女性の方〉 妊娠または妊娠の可能性 なし

あり （授乳 あり なし）

上記記載事項を理解、承諾し、検査に同意します。

年 月 日

氏名 _____